

市民講演会

入場無料

※当日定員になり次第締め切ります。

ためしてサボテン！ ニューノーマルの食料資源を目指して 「ノパル/研究室」の取り組み



**講師： 名城大学 教授
近藤 歩 氏**

講演要旨

「ノパル」とはウチワサボテンの一種で、食用サボテンの呼び名です。特にその若い茎節がノパルと呼ばれ、メキシコ地方では食用や医薬品、飼料など日常的によく利用されています。名城大学附属農場の地元、愛知県春日井市は、サボテン生産の日本一を誇り、食用サボテンを特産品の一つに掲げています。私たちは、食用サボテンをもっと身近で親しみやすい食べ物にするために新メニューの開発に取り組み、「ノパルノ研究」を起ち上げました。そして、地域資源であるサボテンの普及に努めるとともに、世界的な気候温暖化や人口増加の問題が危惧されるなかで、ニューノーマルとなる食品を提案しています

会 場：ホテルフラザ勝川 (TEL 0568-36-2331)

日 時：令和8年9月13日（日） 午後2時～3時

午後1時30分～受付

主催：名城大学春日井市卒業生の会

共催：「ふるさと春日井学」研究フォーラム

後援：名城大学・名城大学校友会